

【全体概要】

平成28年に系統造成が完了した大ヨークシャ種の系統豚「アイリスW3」の生産現場における能力を確認するとともに、県系統豚の活用と豚肉のブランド化を図る。

新品種・新技術等の概要

・アイリスW3

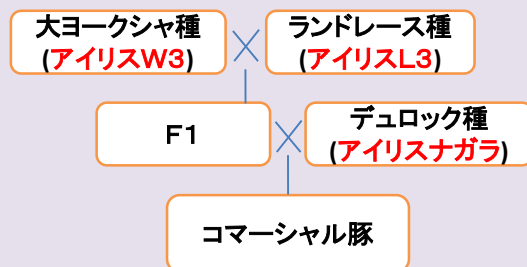
大ヨークシャ種の系統豚として、愛知県農業総合試験場畜産研究部で造成。平成28年に完成し、畜産総合センターへ移管、平成29年から民間への譲渡が始まった。



アイリスW3

・愛知県の系統豚

愛知県は豚の主要3品種(ランドレース種、大ヨークシャー種、デュロック種)の系統豚を自県で造成・供給している。3品種を造成しているのは本県のみで、県の強味となっている。



()内は系統名

主な取組内容

【アイリスW3母豚の能力調査】

- ・アイリスW3飼養農家5戸で、産子数および体重等を測定。

【利用マニュアル作成に向けた飼養管理調査】

- ・利用マニュアル作成時の基礎資料として、飼養管理等を聞き取り調査。

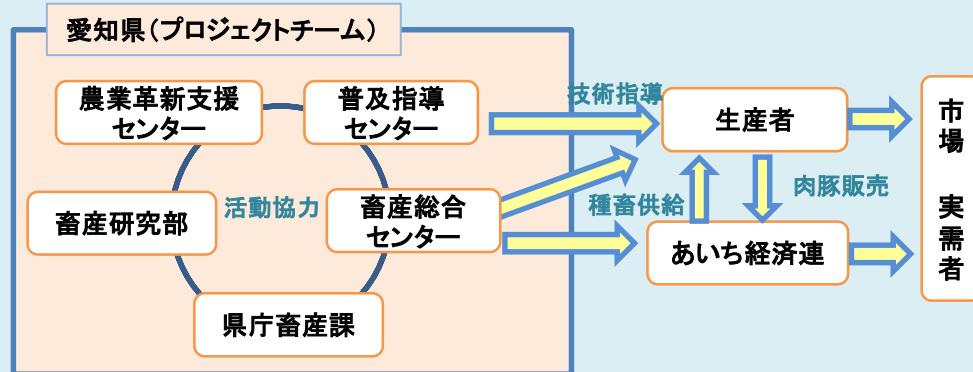
【系統豚利用農家の実態調査】

- ・県内系統豚利用農家17戸の実態、意向等を聞き取り調査。

【県系統豚の方針検討】

- ・県系統豚造成に係る検討会の実施。

実施体制図



課題と今後の対応

【アイリスW3交雑母豚の能力調査】

- ・アイリスW3母豚の能力調査に続いて、ランドレースとの交雑母豚の能力調査を行う。

【系統豚利用マニュアルの作成】

- ・調査結果により明らかになった本県の特徴を踏まえ、アイリスW3を中心とした系統豚利用マニュアルを作成する。

【豚肉のおいしさ評価】

- ・系統豚のブランド化に向けて、アイリスW3由来の系統豚の肉のおいしさ評価を行う。

【系統豚の豚肉のブランド化推進】

- ・系統豚のブランド化に向けた戦略を検討し、事業展開を行う。